

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理									
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質・性能</b>									<b>2.8</b>		
<b>Q-1 室内環境</b>								<b>0.40</b>	<b>3.1</b>		
<b>1 音環境</b>											
<b>1.1 騒音</b>							<b>1.8</b>	0.15	<b>1.8</b>	1.00	<b>1.8</b>
1 暗騒音レベル							1.0	0.40	1.0	0.29	
2 設備騒音対策							1.0	1.00	1.0	1.00	
<b>1.2 遮音</b>							<b>3.0</b>	0.40	<b>2.7</b>	0.50	
1 開口部遮音性能							3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能							-	-	2.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-	-	3.0	0.20	
<b>1.3 吸音</b>							<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.21	
<b>2 温熱環境</b>							<b>1.0</b>	0.35	<b>3.8</b>	1.00	<b>3.2</b>
<b>2.1 室温制御</b>							<b>1.0</b>	1.00	<b>3.8</b>	1.00	
1 室温設定							-	-	3.0	0.60	
2 換気・加湿・除湿制御性							-	-	-	-	
3 外皮性能					W		1.0	1.00	5.0	0.40	
4 ゾーン別制御性							-	-	-	-	
5 温度・湿度制御							-	-	-	-	
6 個別制御							-	-	-	-	
7 時差外空室に対する配慮							-	-	-	-	
8 監視システム							-	-	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>							-	-	-	-	
<b>2.3 空調方式</b>							-	-	-	-	
<b>3 光・視環境</b>							<b>2.2</b>	0.25	<b>4.3</b>	1.00	<b>3.8</b>
<b>3.1 昼光利用</b>							<b>2.4</b>	0.30	<b>4.6</b>	0.50	
1 昼光率							2.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口							-	-	5.0	0.30	
3 昼光利用設備					W		3.0	0.40	3.0	0.20	
<b>3.2 グレア対策</b>							<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50	
1 透明部材のグレア							-	-	-	-	
2 昼光制御					W		2.0	1.00	4.0	1.00	
<b>3.3 照度</b>							<b>1.0</b>	0.15	-	-	
1 照度							1.0	1.00	-	-	
2 照度対策							-	-	-	-	
<b>3.4 照明制御</b>							<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>4 空気環境</b>							<b>2.6</b>	0.25	<b>3.0</b>	1.00	<b>2.9</b>
<b>4.1 発生源対策</b>							<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	0.63	
1 化学物質汚染							3.0	1.00	3.0	1.00	
2 化学系劣化対策							-	-	-	-	
3 デニカ対策							-	-	-	-	
4 レジオネラ対策							-	-	-	-	
<b>4.2 換気</b>							<b>2.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38	
1 換気量							3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能							-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮							1.0	0.50	1.0	0.33	
4 給気制御							-	-	-	-	
<b>4.3 運用管理</b>							-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視							-	-	-	-	
2 喫煙の制御							-	-	-	-	
<b>Q-2 サービス性能</b>							-	0.30	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 機能性</b>							<b>2.2</b>	0.40	<b>3.4</b>	1.00	<b>3.1</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>							<b>3.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性							-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応							-	-	4.0	1.00	
3 バリアフリー計画							3.0	1.00	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>							<b>1.0</b>	0.40	<b>2.5</b>	0.40	
1 広さ感・景観							-	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース							-	-	-	-	
3 内装計画							1.0	1.00	1.0	0.50	
<b>2 耐用性・信頼性</b>							<b>2.8</b>	0.31	-	-	<b>2.8</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>							<b>3.0</b>	0.48	-	-	
1 耐震性							3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能							3.0	0.20	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>							<b>2.8</b>	0.33	-	-	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W		4.0	0.29	-	-	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					W		2.0	0.12	-	-	
3 配管・配線材の更新必要間隔					W		3.0	0.29	-	-	
4 主要設備機器の更新必要間隔					W		2.0	0.29	-	-	
<b>2.3 適切な更新</b>							-	-	-	-	
1 床・壁・天井・外壁仕上げ材の更新							-	-	-	-	
2 配管・配線材の更新							-	-	-	-	
3 主要設備機器の更新							-	-	-	-	
<b>2.4 信頼性</b>							<b>2.6</b>	0.19	-	-	
1 空調・換気設備							3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備							3.0	0.20	-	-	
3 電気設備							3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法							1.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備							3.0	0.20	-	-	

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>3 対応性・更新性</b>					<b>2.6</b>	0.29	<b>3.4</b>	1.00	<b>3.2</b>
3.1 空間のゆとり									
1 階高のゆとり				階高3000mm以上。			<b>3.8</b>	0.50	
2 空間の形状・自由さ							5.0	0.60	
3.2 荷重のゆとり							2.0	0.40	
3.3 設備の更新性							<b>3.0</b>	0.50	
1 空調配管の更新性					<b>2.6</b>	1.00			
2 給排水管の更新性					2.0	0.17			
3 電気配線の更新性					2.0	0.17			
4 通信配線の更新性					3.0	0.11			
5 設備機器の更新性					3.0	0.11			
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22			
6 3.0					3.0	0.22			
<b>Q-3 室外環境(敷地内)</b>						<b>0.30</b>			<b>2.4</b>
1 生物環境の保全と創出		G			<b>3.0</b>	0.40			<b>3.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮		G			<b>2.0</b>	0.20			<b>2.0</b>
3 地域性・アメニティへの配慮					<b>2.0</b>	0.40			<b>2.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		<b>2.0</b>	0.50			
3.2 敷地内温暖環境の向上	W	G			<b>2.0</b>	0.50			
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>									<b>3.3</b>
<b>LR-1 エネルギー</b>						<b>0.40</b>			<b>4.5</b>
1 建物の熱負荷抑制	W			日本住宅性能評定基準の省エネルギー対策等級4を満たしている	<b>5.0</b>	0.40			<b>5.0</b>
2 自然エネルギー利用					<b>2.5</b>	0.20			<b>2.5</b>
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				<b>2.0</b>	0.50			
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	S			<b>3.0</b>	0.50			
3 設備システムの高効率化	W			潜熱回収型の給湯設備を使用している。	<b>5.0</b>	0.40			<b>5.0</b>
4 効率的運用									
4.1 モニタリング	W								
4.2 運用管理体制	W								
<b>LR-2 資源・マテリアル</b>						<b>0.30</b>			<b>2.8</b>
1 水資源保護					<b>3.0</b>	0.15			<b>3.0</b>
1.1 節水	W				<b>3.0</b>	0.60			
1.2 雨水利用・雑排水再利用					<b>3.0</b>	0.40			
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67			
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33			
2 低環境負荷材					<b>2.8</b>	0.85			<b>2.8</b>
2.1 資源の再利用効率					<b>2.3</b>	0.35			
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67			
2 非構造材料の再利用効率	W				1.0	0.33			
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				<b>2.0</b>	0.04			
2.3 有害物質を含まない材料	W				<b>3.0</b>	0.08			
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				<b>3.0</b>	0.18			
2.5 部材の再利用可能性	W				<b>3.0</b>	0.18			
2.6 フロン・ハロンの回避					<b>3.5</b>	0.18			
1 消火剤	W			ハロン消火剤を一切使用していない。	4.0	0.50			
2 断熱材	W				3.0	0.50			
3 冷媒	W								
<b>LR-3 敷地外環境</b>						<b>0.30</b>			<b>2.4</b>
1 大気汚染防止	W				<b>3.0</b>	0.10			<b>3.0</b>
2 騒音・振動・悪臭の防止					<b>3.0</b>	0.05			<b>3.0</b>
2.1 騒音					3.0	1.00			
2.2 振動									
2.3 悪臭									
3 風害、日照阻害の抑制					<b>1.6</b>	0.10			<b>1.6</b>
3.1 風害の抑制					1.0	0.70			
3.2 日照阻害の抑制					3.0	0.30			
4 光害の抑制				「光害対策ガイドライン」のチェックリスト項目の過半を満たしている	<b>5.0</b>	0.05			<b>5.0</b>
5 温暖環境悪化の改善	W	G	S		<b>1.0</b>	0.30			<b>1.0</b>
6 地域インフラへの負荷抑制					<b>3.3</b>	0.40			<b>3.3</b>
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30			
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10			
6.3 交通負荷抑制			S	十分な駐車スペースを確保している。	4.0	0.30			
6.4 廃棄物処理負荷	W				3.0	0.30			

LR-1 用途別得点表		集合住宅				面積按分
		4,077 m <sup>2</sup>				総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	5.0				5.0
3	設備システムの ERRIによる評価					5
	高効率化 個別設備による評価	5.0				
3.1	空調設備					
3.2	換気設備					
3.3	照明設備	5.0				
3.4	給湯設備	5.0				
3.5	昇降機設備	3.0				